第193回

東京医科大学病院　市民公開講座

※来場型開催

2026 12/18 金



第1部 演題

子どもの健やかな発達に、私達ができる事

— こころと体の繋がりを考える —

第2部 演題

子どもの摂食症

— 大人が知っておきたいこと、できること —

第1部 講師



小児科・思春期科

春日 晃子 医師

「心身症」とは「体の病気の発症や経過に心理・社会的因子が大きく影響しているもの」であり、近年増加傾向にあります。子どもでは長引く気管支喘息、アトピー性皮膚炎、繰り返す頭痛、腹痛、起立性調整障害などとの関係があるとも言われています。成長の過程にある子どもたちは、受けた負担を言葉や感情で表しにくく、自分では気がつかない内に様々な形で現れます。気になる症状が長引いた時には体の症状だけではなく、「こころ」の状態や取り巻く環境、発達段階を総合的に見ていく事が大切です。今回子どもの健やかな成長発達を見守る為に身近にいる私達ができる事を、こころと体の繋がりを意識しながらお話しさせて頂きます。

第2部 講師



小児科・思春期科

林 佳奈子 医師

近年、子どもの摂食症が増えています。今まで通り食べることが難しい、体重が増えることを怖がる、体型に強くこだわる、たくさん食べては吐く—こうした変化は、摂食症のサインかもしれません。摂食症は単なる好き嫌いや本人の意思の問題ではなく、子どもの心と体、成長や発達にも大きな影響を及ぼしうる病気です。未来ある子どもの健やかな成長を守るため、周囲が早期に異変に気づき、適切な治療につなげることが大切です。本講演では、子どもの摂食症の特徴や早期発見のポイント、治療の概要などについてお話しします。また、家族や学校など、周囲の人がどのように子どもに接し、回復を支えていけばよいのかについてお伝えします。

日 時 2026年12月18日(金)　開場 16：30　開演 17：00 ～　閉演 18：30(予定)

会 場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

申 込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

共　催：東京医科大学／東京医科大学病院 生涯教育センター
公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団／東京医専
問合せ：東京医科大学病院 総務課　tel.03-3342-6111(代)